

6 - 2 西南日本内陸部の地震活動 (1996年5月~1996年10月)

Seismic Activity in the Inner Zone of Southwest Japan (May-October, 1996)

京都大学防災研究所 地震予知研究センター

Research Center for Earthquake Prediction

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

第1図は1996年5月から10月までの西南日本内陸部の地震活動状況を示す。以下に地域毎の顕著な地震活動を示す。

1. 中部地方北西部の地震活動

第2図は飛騨地方北部および能登半島・富山湾周辺を含む北陸地方北部の地震活動状況を示す。全般には兵庫県南部地震発生以来、地震活動は低調で、この期間もその傾向は変わらない。1996年前半は静穏であった中部山岳地帯が後半にはいって稍活発になった程度である。岐阜県および富山県と石川県の県境付近で小さい地震が前回よりも多いのは、地震判定の方式が変更された影響を含んでいると考えられる。M3.3以上の地震を含む活動は以下の通りである。

(1) 富山湾北東部で5月7日にM3.5の地震が起きたが、この海域では能登半島沖地震の余震を除けば唯一のM3.3以上の地震である。(4) 能登半島沖地震の余震は依然として続いており、6月10日および9月20日にM3.4の地震が発生している。(2) 長野県西部地震の余震域は相変わらず活発な活動を呈し、5月26日のM4.0の地震を初めとしてM4以上の地震が2回、M3.3以上の地震が9回発生している。中部山岳地帯は5月までは極めて静穏であったが、(3) 6月10日に槍ヶ岳でM3.5、(5) 6月28日に焼岳でM3.4の地震が発生している。乗鞍岳周辺の活動も活発であるがM3.3以上の地震はこの期間発生していない。その他単発的に(6) 7月4日に能登島でM3.3、(7) 7月10日に長野県更埴市でM3.3、(8) 7月25日に富山県砺波市周辺でM3.3の地震が発生している。

(9)、(10)の地震については次の項で述べる。

第3図は北陸地方南部の地震活動状況を示す。(1)は前項で記述。

この地域も1994年後半から地震活動が静穏化しているが、大勢的にその傾向は変わっていない。ただ、(2) 7月28日に琵琶湖東岸浅井町周辺で、M3.7の地震が発生したのが、この期間で最大のイベントである。8月3日までにM3.9を最大とするM3.3以上の地震が7回発生している。これとほぼ時期を同じにして、(3) 7月28日に福井県大野市周辺でM3.7、(4) 7月29日と30日に石川県小松市東部で、M3.4、M3.5の地震が発生している。

その他では、(5) 9月1日に岐阜・三重県境でM3.5、(6) 9月8日に岐阜県美濃市周辺でM3.5、(9) 10月23日に越前岬北北西沖でM3.5の地震が発生している程度である。

(7)、(8)については次の項で述べる。

2. 近畿地方中北部の地震活動

第4図はこの地域の地震活動状況を示す。兵庫県南部地震の余震が順調に減少しつつ活動している他は、有馬高槻構造線北部の丹波帯の活動が活発になっている。

(2) 兵庫県南部地震の余震活動は、5月11日のM3.8の地震をはじめとして、この期間M3.3以上の地震は、12回観測されている。12回の内4回が5・6月、8回が9・10月で7・8月は1回も観測されていない。最大のものは10月31日に神戸側で発生したM3.9である。(4) 兵庫県南部地震の余震域から少しはずれた兵庫県池田市周辺で5月19日にM3.5の地震が発生している。(1) 有馬高槻構造線の北側、大阪府北端部、兵庫県西端部および京都府中部ではこの期間地震活動が非常に活発で、M3.3以上の地震が合計9回発生している。5月10日には京都府園部町でM3.3、5月22日には京都市北部でM3.3、5月29日京都市西北部でM3.8、6月12日と13日に京都府亀岡市でそれぞれM3.3、M3.4、7月14日には京都市・亀岡市境M3.3、7月18日には京都市中部、花折断層南端部周辺でM3.7、9月3日には大阪府能勢町でM3.4、9月12日に京都府京北町周辺でM3.6の地震が起こるなど例年にない活動状況を呈している。これらの地域を取りまく周辺地域では、(7) 6月13日に京都府和知町でM3.3、(12) 10月14日に京都府・滋賀県境の滋賀県志賀町付近でM3.3の地震が発生している。

これら以外の活動では前述の(9)、(11)の地震群以外には、6月9日に京都府南部でM3.3、深さ60km、(5) 同日大阪・奈良県境でM3.3、深さ64kmの深発地震が発生している。また(8) 7月14日には三重県紀勢町周辺でM3.4、(10) 7月31日には奈良県東吉野村周辺でM3.6の地震が発生している。(3)については後述。

3. 中国地方東部の地震活動

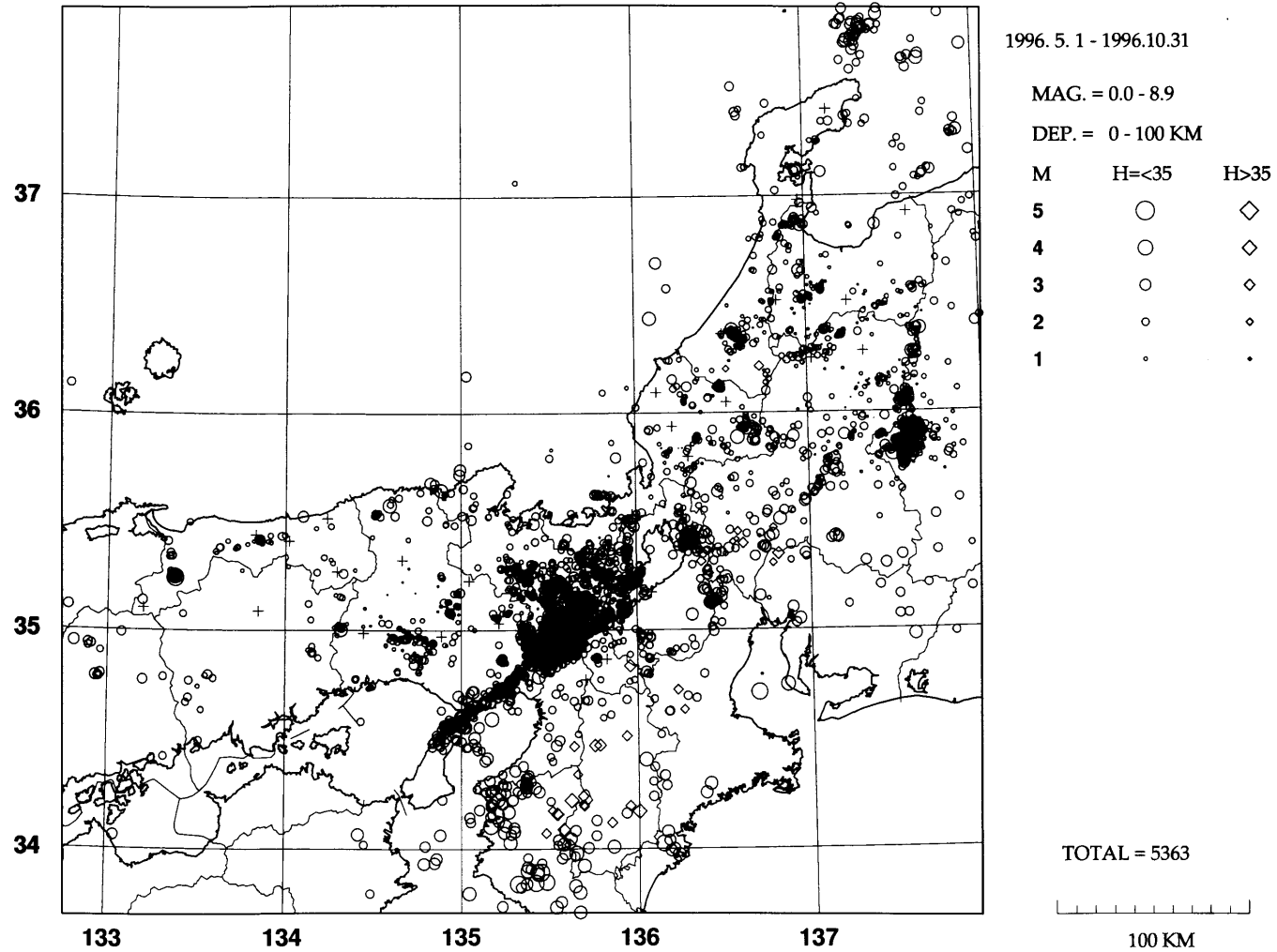
第5図はこの期間中の中国地方東部の地震活動を示す。この地域は他の地域に比べて地震活動が活発でないためM3.0以上の地震について述べる。

兵庫県南部地震以来この地域の地震活動は非常に低下している、その中で比較的活発な活動をしていた山崎断層周辺の地震もM3.0以上の地震を伴う地震活動は見られない。

兵庫県南部地震の余震(1)以外でこの期間で目立っているのは兵庫県および京都府西部の日本海沿岸周辺の地震である。(2) 5月15日に兵庫県・京都府境の日本海沿岸周辺で、M3.0、M3.5の地震が発生している。(4) 6月20日にはその東側、京都府網野町の郷村断層の延長上の日本海でM3.1の地震が発生している。(6) 10月22日には兵庫県香住町でM3.6の地震が発生している。これらの地域以外では、(3)今年初めに活動が活発になってきた鳥取県西部の地震活動は6月15日にM4.5が発生し続いてM3.2、M3.7の地震を含む余震活動があった。(5) 7月30日には山崎断層から少しはずれた兵庫県佐用町でM3.5の地震が発生し小さな余震活動があった。

西南日本内帯の地震活動

RESEARCH CENTER FOR EARTHQUAKE PREDICTION, D.P.R.I., KYOTO UNIV.

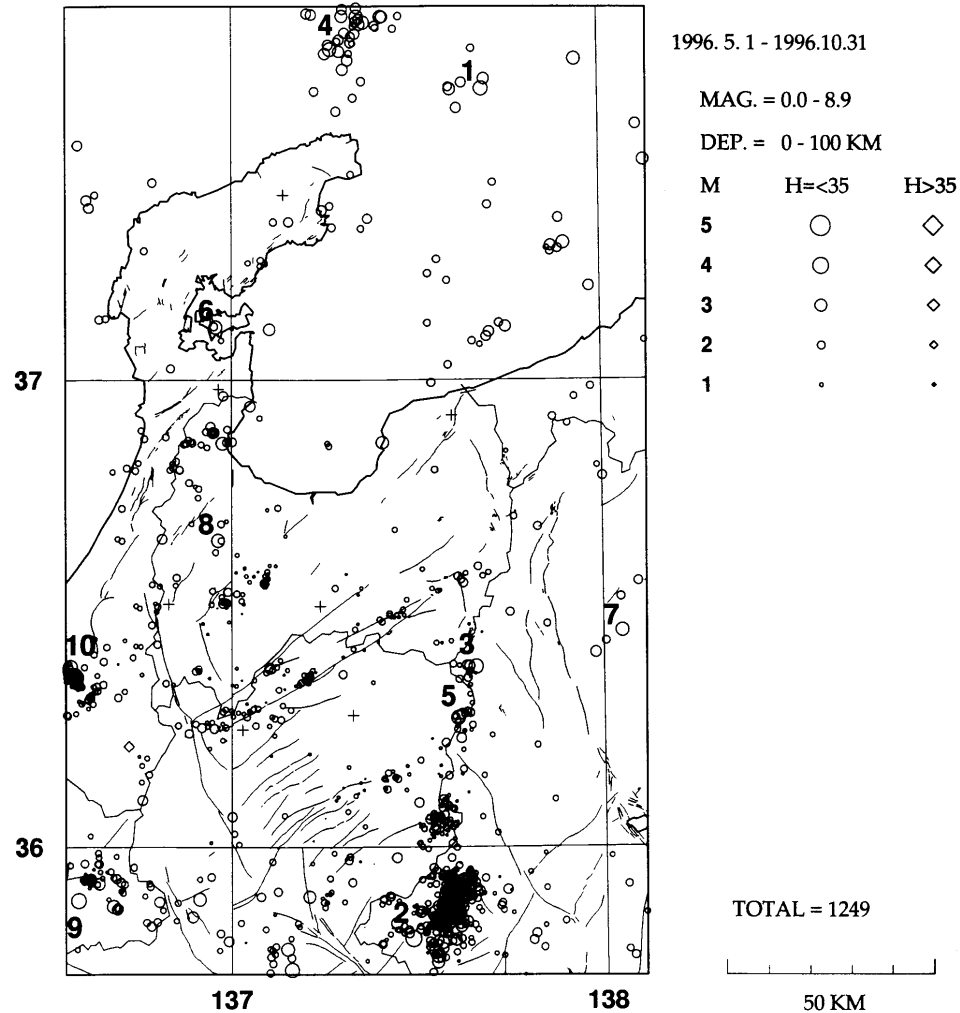


第1図 西南日本内陸部の地震活動 (1996年5月~10月)

Fig. 1 Seismicity in the inner zone of Southwest Japan, May - October, 1996.

中部地方北西部の地震活動 (1)

RESEARCH CENTER FOR EARTHQUAKE PREDICTION, D.P.R.I., KYOTO UNIV.

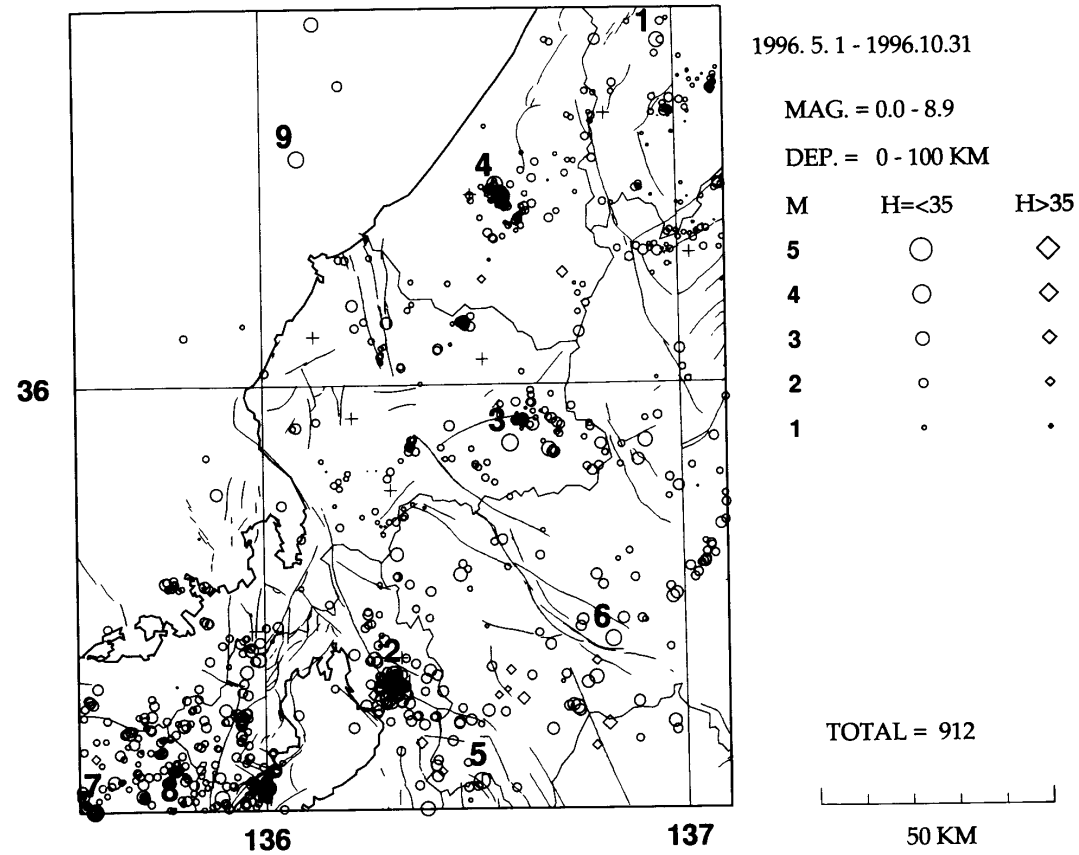


第 2 図 中部地方北西部の地震活動 (1) 飛騨地方北部および北陸地方北部 (1996 年 5 月 ~ 10 月)

Fig. 2 Seismicity in the northwestern Chubu region. (1) northern Hida and northern Hokuriku region, during the period May - October, 1996.

中部地方北西部の地震活動 (2)

RESEARCH CENTER FOR EARTHQUAKE PREDICTION, D.P.R.I., KYOTO UNIV.

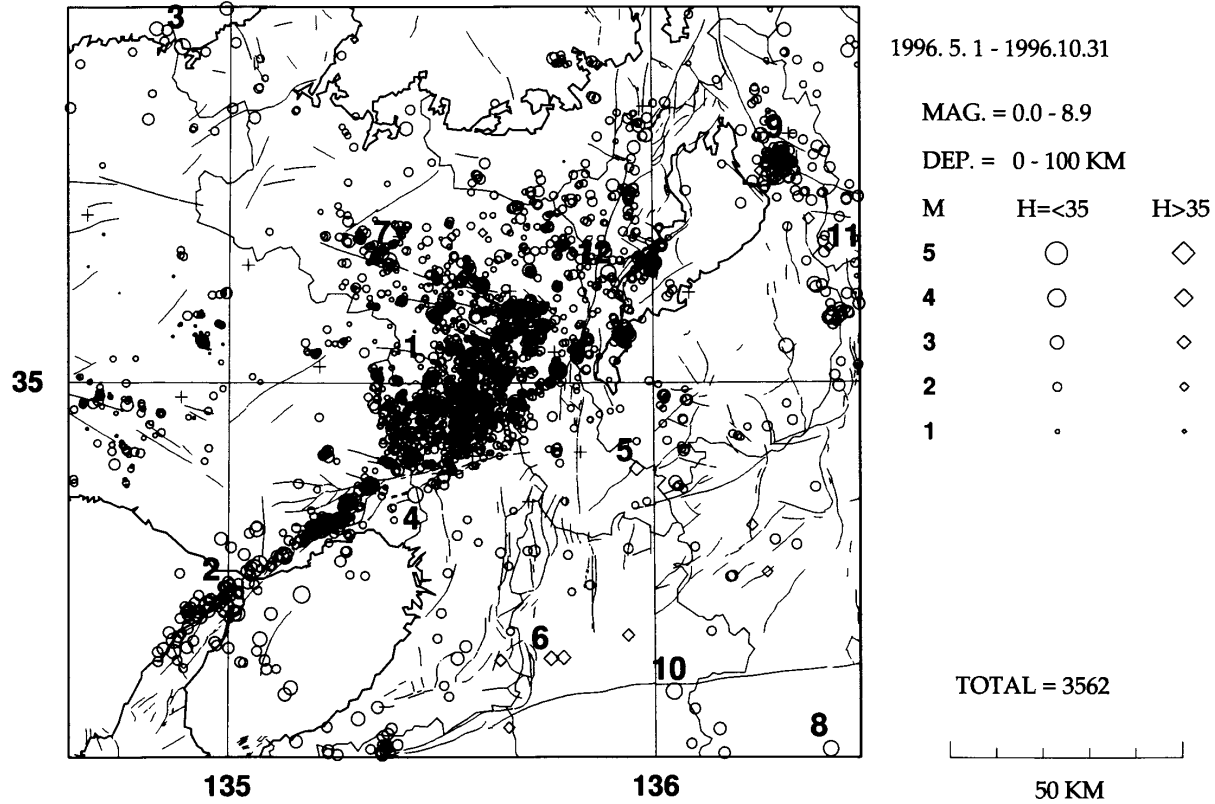


第3図 中部地方北西部の地震活動 (2) 北陸地方南部 (1996年5月~10月)

Fig. 3 Seismicity in the northwestern Chubu region. (2)southern Hokuriku region, during the period May - October, 1996.

近畿地方中北部の地震活動

RESEARCH CENTER FOR EARTHQUAKE PREDICTION, D.P.R.I., KYOTO UNIV.

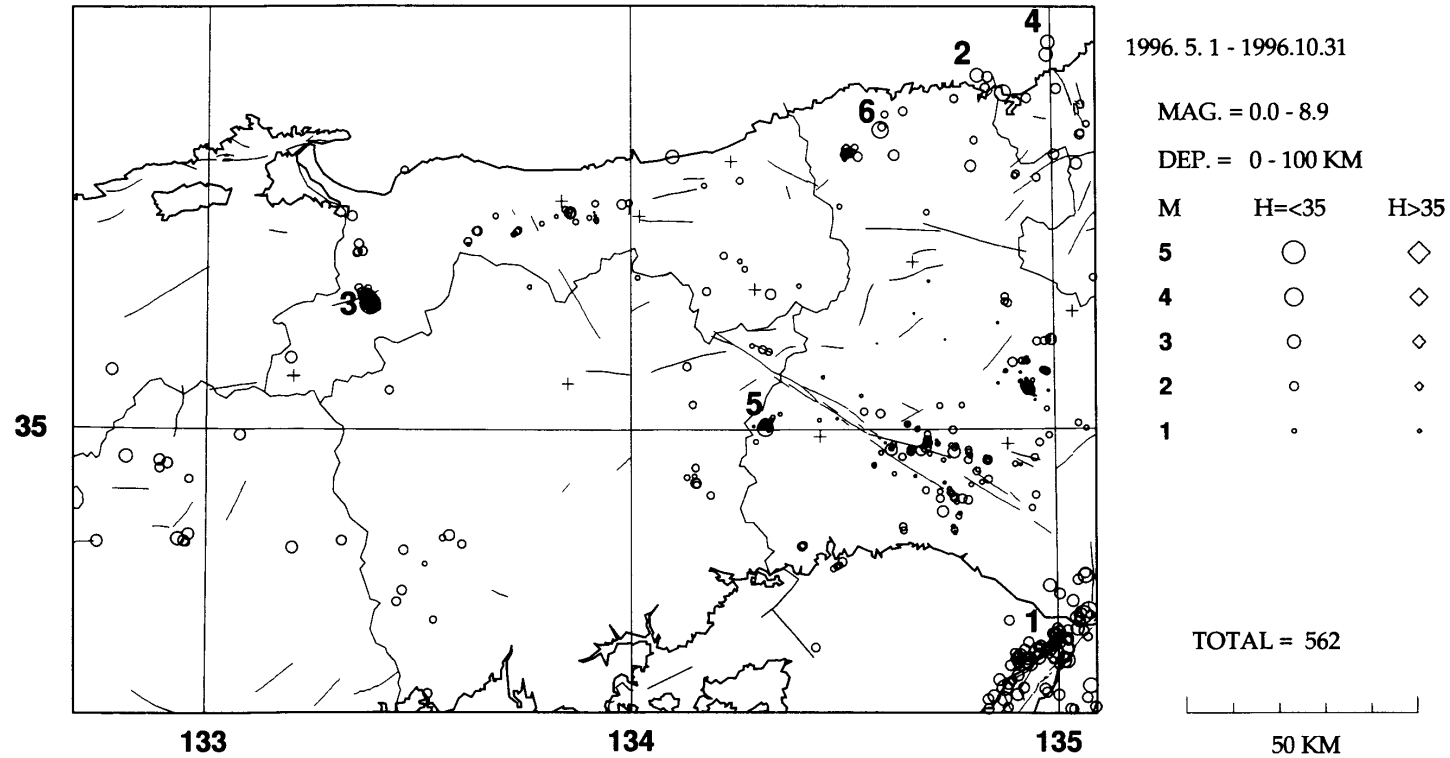


第4図 近畿地方中北部の地震活動 (1996年5月~10月)

Fig. 4 Seismicity in the central and northern Kinki region, during the period May - October, 1996.

中国地方東部の地震活動

RESEARCH CENTER FOR EARTHQUAKE PREDICTION, D.P.R.I., KYOTO UNIV.



第5図 中国地方東部の地震活動 (1996年5月~10月)

Fig. 5 Seismicity in the eastern Chugoku region, during the period May - October, 1996.